

令和7年度 学校評価アンケートの概要について

1 回収率

実施日：令和7年11月20日（木）～12月1日（月）

対 象		回答者数	回答率	昨年度回答率
生徒	89名	82名（6名分未反映）	92.1%	96.7%
寄宿舎生	45名	40名（5名分未反映）	88.8%	100.0%
保護者	89名	90名（1名が2回回答）	101.1%	89.2%
教職員	68名	68名	100.0%	100.0%

2 結果と考察

○保護者・職員 A「当てはまる」、B「やや当てはまる」、C「あまり当てはまらない」、D「当てはまらない」から選択

○生徒・寄宿舎生 A「できる、わかる、はい、ある」、B「できない、わからない いいえ、ない」から選択

●Forms で実施した。生徒は全員アンケートに取り組んだが、回答が未反映となった生徒がいた（学校6名、寄宿舎5名）。また保護者1名が2度回答している。

(1) 学校経営全般について

○保護者、教職員ともに肯定的評価が97%、生徒も93%を超えており、評価は概ね良好であった。
○保護者の「悩み等の相談に丁寧に対応」（問4）97.8%と教職員の「相談対応」（問2）100%は高水準であった。
●生徒は、「クラスの間関係」（学14）89.0%、「悩みの相談」（学12）86.6%は小幅に低下している。
●寄宿舎については、（舎6）以外は小幅に低下している。
人間関係や寄宿舎生活に関する内容については、一層生徒の思いや考えを丁寧に聞き取り、引き続き個別支援と集団活動のバランスを検討しながら対応していきたい。

(2) 学習活動について

○生徒は、「授業の分かりやすさ」（学3）96.3%、「専門教科や実習で働く力」（学4）100.0%、「キャリアアップ」（学6）98.8%など概ね高い肯定的評価であった。
●他方で「地域・交流活動の満足」（学8）は93.9%とやや低めの評価となった。
○保護者は「卒業後に必要な力の向上」（問5）98.9%、教職員は「専門・実習での力」（問5）98.5%など高い肯定的評価であった。
●教職員の「基本的学力の定着」（問4）は昨年度より微増ではあるものの89.7%と比較的低めで、引き続き適切な指導・支援に努めたい。

(3) 生活面の指導支援について

○保護者、教職員は全体として、高い肯定的評価であった。
○生徒の「部活動」（学15）95.1%は、昨年度より微増で概ね高い肯定的評価であった。
●生徒の「いじめ問題への対応」（学13）は、91.5%（-3.7）と比較的低めの評価となった。複数ある相談の方法について、学年集会やLHRを利用し周知していきたい。

(4) 科の選択について

○生徒、保護者、教職員ともに100%の肯定的評価であった。

(5) 進路指導について

○保護者、教職員ともに肯定的評価は100%、生徒も97.6%の高い肯定的評価であった。

(6) 保健安全について

○保護者 98.9%、教職員 97.1%と概ね高い肯定的評価であった。

●生徒の「他者への優しさ、思いやり」(学11)の項目が93.9%で比較的低い評価となっている。「健康、安全」(学10)95.1%の自由記述では、健康や体調のセルフマネジメントの不安について記載があるので、個別支援の充実を図りたい。

(7) 施設設備について

○保護者(問13)は、97.8%の高評価であった。

●教職員(問14)は、89.7%とやや低く、環境整備の継続的な改善が課題である。

(8) PTA活動について

○保護者(問14) 98.9%、教職員(問15) 100%と、双方で高評価であった。

(9) 寄宿舎について

○保護者、教職員とも全項目において、肯定的評価が95%以上であった。

○生徒は、「自習時間の勉強」(舎4)、「悩みや相談」(舎6)が97%以上の高い肯定的評価だった。

●生徒は、ほとんどの項目で昨年度より低い評価となっている。特に「生活の楽しさ」(舎1)85%や「行事や余暇活動」(舎7)87.5%については、自由時間の確保や運用、余暇活動の工夫などの改善が必要である。

(10) 満足度について

○保護者は、98.9%の高い肯定的評価であった。

●生徒は、90.2%で保護者評価との開きがみられた。

今後も生徒及び保護者の教育的ニーズをしっかりと把握しながら学校運営を進めたい。

(11) 全体として

○生徒は、15項目中9項目で95%以上の肯定的評価。保護者・教職員は多くの項目で概ね95%以上の高い肯定的評価であった。

●生徒の「相談」(学12)86.6%や「思いやり」(学11)93.9%、教職員の「基本的学力の定着」(問4)89.7%、「施設設備、環境の整備」(問14)89.7%などは、相対的に低めの評価であった。

引き続きPDCAを回し、指導・支援の質と環境整備の両面で改善を図ること、生徒、保護者への説明と教職員の共通理解をさらに進めながら教育活動を一層充実させていきたい。